

議題提案書

1 基本情報

議題種別	協議事項
議題名	N 連の今年度の現時点の状況と来年度に向けた検討課題について
提案者の氏名	今西浩明
提案者の所属	NGO 側連携推進委員会
提案者の役職	連携推進委員

2 議題提案の背景

N 連は NGO が外務省と連携する上で、最も重要かつ予算が大きいプログラムである。しかしながら、ここ数年、N 連の新規申請案件数に対して予算不足が生じているが、それに対して様々な施策や対応も行ってきた。しかしながら、今年度においても、そのような状況の画期的な改善には至っていない。

今後も国際協力における戦略的パートナーとして NGO が外務省と効果的な協働を行うためにも、N 連の実施における様々な課題、問題について、双方が一緒になって知恵を絞りながら取り組んでいく必要がある。

3 議題の論点（連携推進委員会で議論したい点）

今回、議論したいのは以下の 3 点である。

(1) 今年度の現時点での状況について

今年度の N 連の実施に関して、まず現時点での申請状況（件数、申請予算総額など）や審査、贈与契約締結の進捗状況についてご報告いただきたい。その上で、今年度導入した 5000 万円を境とした新規案件枠の設定や、申請から現在に至る審査のプロセスなどについて、よかった点や問題、反省点、課題、次年度への参考になる点などについて、意見交換、議論を行いたい。

(2) 来年度の実施要領の改正について

現在、N 連タスクフォースの場で、外務省側、NGO 側双方から要望を出し合い検討を行っている。それぞれの要望のポイントや検討の状況などについて報告をいただきながら、今後の見通しについて意見交換を行いたい。

また、今年度は一部ではあるが、N 連実施要領の英訳が作成された。これについての報告をいただくとともに、残りの英訳作成の見通しをお聞かせいただきたい。

(3) N 連予算不足や安定的な予算確保に向けた対策について

上記のように、今年度の予算においても、無償資金協力予算の中での N 連予算は多くの案件の申請に応えることが難しく、複数年かけて成果を達成する NGO 案件の要請にも十分応えられていないのが現状である。

このような状況の打開に向けて、外務省、NGO 双方として何ができるのか？どのような協力、協働をすべきなのかについて、例えば、N 連に特化した予算枠の確保などが検討できないかなども、率直な意見交換を行いたい。

4 出席を希望する外務省部局または担当者

外務省 民間援助連携室 岩上室長、
N 連予算を所管する部署（無償資金協力の担当課、政策課など）

以上